

## ⑤ 知的障害者の心理

家族への心理的アプローチを考える前に、家族を支援する時に配慮すべきことについて、家族支援の基本、インフォーマルな支援とフォーマルな支援についてまとめると共に、家族を支援する時に配慮すべきこととして、あなたが考え、実行した支援の実際を具体的に述べなさい。

知的障害のある人たちの支援に携わるにはライフサイクルを見通した家族支援は欠かせないことである。より良い支援を行うためには、家族に対する理解は重要である。障害がある子どもを親がどのように受け入れていくかということは、個々の親が担っていく大きな課題であり、一人ひとりに寄り添い、親の心理的葛藤や、受け入れる自由を保障しながら支援を継続していく必要がある。

家族を支援するときに配慮すべきこととして、家族支援の基本となる三要素がある。まず第1には、家族を中心においた支援である。これは、家族の要望、家族の良さや強さ、また脆さについて考え、その家族のニーズを満たすインフォーマル、フォーマルな支援を行いながら、家族がもっている力を強めることである。つまり、支援者は家族が必要とする生活の様々な情報を提供し、相談に応ずることが必要である。

次に第2として、子どもを含めた家族一人ひとりのメンバーに向けた支援である。幼少期の発達支援では、できる限り早期に子どもの障害を受け止めさせなければならないと言われるが、これは子ども側に立った視点を併せ持つことが重要である。つまり、幼少期の頃から親に過重な負担をかけてしまうことで、かえって長期的な親子の関係性の構築にマイナスの影響を及ぼす危険があることを考慮し、親を含めた家族全

体の関係性を考えることが重要である。

そして第3では、家族のニーズに対応する関係機関の連携が重要である。家族は、障害のある子どもの発達及び、ライフサイクルのそれぞれの時期で、日常生活に関する情報や学習、経済的問題、医学的問題など多岐にわたるニーズをもち、それらを充足するサービスには医療、福祉、教育、就労、行政関係者が携わっており、これらの専門家の連携によって行わなければならない。また子どもの生活環境が変わる移行期には特に重要である。

また、家族支援をするうえで、インフォーマルな支援とフォーマルな支援の役割は重要で、インフォーマルな支援には家族間の支援や近隣の人びと、地域社会の人びと、同じような障害の子をもつ家族同士などの支援がある。つまり、家族は障害のある子どもの日常の世話や、情報の収集、遊び相手、就労の相談など支援し合うことになり、また地域社会への参加につながるように、近隣の人びとに障害について正しい理解や啓発を持ってもらえるような支援も必要である。そして専門家は親の会活動のような情報交換や気兼ねない話し合いの場を紹介したり、その組織化に力を貸すことが大切である。次にフォーマルな支援には、家族に直接的に関わるサービスとしてショートステイなどがある。これは障害のある人の世話で大変な家族が、障害のある人を家

庭でみることができるよう、家族が一時的な休息をとり、再び世話を続けることができるようにすることである。また間接的ではあるが、障害児の学校や就労関係のサービス、医療費や障害基礎年金、諸手当などの経済支援、生活全般にわたる相談支援、医療支援などがある。これらのサービスについて、親や家族にわかりやすく伝えることも非常に重要である。

前述したように、家族を支援する時に配慮すべき点は多岐にわたるが、私が実行した支援は主に情報提供と支援内容の提案である。

大概の障害のある子どもの親や家族は、遠慮しがちで相談があっても本当のニーズを打ち明けてこない。また、悩みがあっても情報不足や頼ることが不得手なために悩み続けるだけの人が多い。

最近では、障害のある双子を両親と兄弟2人で見ている家庭があったが、父親が死別し母親への負担が急激に増えた。そして、兄弟への負担も想像するに急増であろう。ある日、利用者である双子が、顔や腕に傷があり通所してきた。その際、母親に傷のことを聞くと双子同士けんか

によるものだと言っていたが、自傷や他害行為のある双子にしても少し変だと思い、詳しく話を聞いていくうちに、事の成り行きが明らかになった。実際は、自宅で興奮した双子に対し、弟が棒で叩いたということであった。話しからすると、弟は双子の障害に対して正しい理解をしておらず、母親も弟の理解を深める行為はしてこなかったのである。直ちに対処法として、相談事業所の活用、弟の理解を得られるように話し合うことなどを伝え、現在も注意して家族支援を続けている。

また、家族メンバーによる支援能力の差から送迎場所の変更や主要支援者の不在によるレスパイトサービスの提案を行っている。利用者が安定した穏やかな日々を過ごすために、家族支援は欠かせないものである。

**講評：**

家族への支援の基本について、しっかりまとめられています。実践事例ではテキストを参考に、ご自身の経験をよく分析し、まとめられている優れたレポートです。